

大松

至誠 剛健 協同

香美町立香住小学校 学校だより
(令和4年3月17日号) No. 39



読解力向上スマホより紙

2月27日(日)の新聞に以下のような記事が掲載されていまして、紹介させていただきます。お読みになって、保護者の皆様はどうお考えになるのでしょうか。

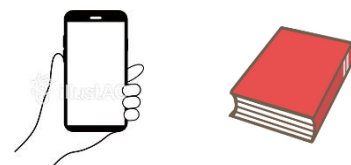
スマートフォンよりも紙の本の方が、内容を記憶しやすく読解力が高まるとみられるとする研究結果を、昭和大学の本間元康講師(認知科学)らの研究チームが発表した。論文が科学誌「サイエンティフィック・リポート」に掲載された。

チームは、作家の村上春樹さんの小説の一節を学生34人に、紙の本かスマホで読んでもらい、その後、主人公の見た風景や登場した会社名など、記憶や読解力に関する設問を10問(1問1点)出した。すると、紙で読んだ場合は平均8.9点、スマホでは同7.4点だった。

読書中、脳の前頭葉の活動はスマホの方が活発だった。脳が過剰に働き、注意力が散漫になっている可能性があるという。読書中に深く呼吸した回数は、本で平均3.3回、スマホでは同1.8回だった。本間講師は「本ではリラックスして読書できることがうかがえる」と分析している。

【酒井邦嘉・東京大教授(言語脳科学)の話】

「媒体の違いで脳活動や呼吸に差が出ることを見つけた興味深い研究だ。紙媒体の方が集中して読めると考えられるが、様々な解釈ができるので詳しい研究が必要だ」



～令和4年2月27日付 読売新聞～

6年生を送る会

3月9日(水)、「6年生を送る会」が、動画視聴形式(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため)で行われました。各学年から披露された動画では、言葉や文字を駆使する様子が伝わってきましたし、音楽や演技を交えたさまざまな工夫も感じられました。したがって、動画視聴形式とは言え、対面形式にけっしてひけをとらないたいへん有意義なひとときになりました。

最後に、在校生代表から6年生にプレゼントの贈呈がありましたが、その様子に胸がジーンと熱くなりました。6年生の皆さん、卒業おめでとう!香住小学校での思い出を胸に大きくはばたけ!



3・11 追悼集会

11年前に発生した東日本大震災を受けて「3・11追悼集会」を校内放送形式で実施しました。あの時、私は兵庫県の被災地支援業務で震災発生直後（約2週間後）の宮城県気仙沼市に入りましたが、市の中心部には凄惨な光景が広がっていました。津波で押し流された建物が行く手を阻み、大きなタンカーや漁船が陸地に打ち上げられ、自動車が学校やショッピングセンターの3階や4階の窓を突き破ってその中に。そして、沿岸部では行方不明者を捜索する警察官や自衛隊の方々があちこちに。

27年前に発生した阪神淡路大震災後、全国で建物の耐震化が進み、今では地震に強い建造物が主流になってきています。しかし、津波というのは、それをも破壊してしまうほどの想像を絶する力があることをこのたび香住小学校の児童に話して聞かせました。気仙沼市と同じように沿岸部に街がひろがる香住の地にとりましても津波はたいへんな脅威です。各ご家庭では津波警報等が発令された場合の避難先についてお子様と話し合っておいていただく必要があります。ご存じのように、津波は海から数km以上もさかのぼって襲ってくることも十分に考えられます。

さて、今回の追悼集会の締めくくりとして、犠牲者に対する黙とうを行いました。とは言っても、香住小学校の現児童にとりまして、すでにこの震災は生まれる前の出来事、もしくは、生まれていても全く記憶にない出来事になってしまっていることを大人は強く認識しなくてはいけません。私たち大人は毎年のように終戦記念日や原爆記念日（ともに1945年の出来事）に黙とうを捧げていますが、先人からその出来事の重大さを繰り返し教わってきたからこそ真剣な黙とうを捧げることができるわけで、もし教わっていなければ心のこもっていない形式的な黙とうになってしまうことでしょうか。つまり、いくら歳月が流れても東日本大震災や阪神淡路大震災で何が起きたかを子どもたちにしっかりと語り続けることが極めて重要になってくるということです。



民法改正により成人年齢が18歳に

令和4年（2022年）4月1日から成人年齢が18歳に変わります。つまり、これまで20歳で成人とされていたものが2年も早まるわけで、子どもたちには今までよりも早く大人になるための自覚をさせなくてはならないということになります。では、大人になるための自覚とはどんなことを指すのでしょうか。きっと、できるだけ早めに社会の動きについての興味関心を持たせることもそのひとつではないでしょうか。例えば、政治や経済などに加えて勤労や納税。また、世界平和への意識を高めることも大人への自覚には必要かもしれません。現在、ロシアによるウクライナ侵攻が連日のように報じられています。今すぐにこの事態を打開する力は我々にはないかもしれませんが、起きていることから目を背けずに注視するということが将来の世界平和につながると信じます。そのような姿勢を小学生である子どもたちにも少しずつ持たせたいものです。



令和3年度卒業証書授与式、修了式

令和3年度卒業証書授与式を3月22日（火）に举行します。昨年、一昨年度にひきつづき新型コロナウイルス対策を講じた上での式となります。当日の在校生参列は5年生のみとなりますので、4年生以下の児童については6年生とともに過ごした日々を思い出しながら、それぞれの家で6年生の卒業をお祝いしてほしいと思っています。また、在校生の修了式は3月24日（木）です。1年間、本当によく頑張りました。